



下総町・大栄町

伝統の祭り 夏の風物詩

ふるさとでの熱い思いがひびく



沿道からは清めの水が

助崎の祇園祭

下総町名古屋地区にある須賀神社のお祭り、無病息災・五穀豊穡を願って、毎年7月19日に行われます。

助崎城のお姫様が所有していたという伝説の長刀を先頭に、地区の青年たちが威勢よく白木の神輿を夜遅くまで担ぎます。この日はかりは普段静かな神社境内や周辺に、露店が並びとてもにぎわいます。

円通寺に奉納された長刀

成田市大室の円通寺に伝わる長刀は、鎌倉幕府創設に貢献した千葉常胤の愛用品で、代々助崎城主が所持していたものです。これが円通寺に伝わった由来は次のとおりです。

豊臣秀吉の小田原北条攻めで北条氏に味方した助崎城主は戦いに破れ落城。その折、城主の姫は家宝の長刀を携え馬で城を逃れ、川



を飛び越え円通寺に逃げ込みました。そして姫は円通寺に長刀を奉納し、尼になり余生を過ごしたという話が伝えられています。

そのため、助崎の祇園祭ではこの3mもある長刀が必ず持ち出され、神輿の前を先導しているのです。姫が跳ねて越えた川を、お跳ね川と呼び、現在、尾羽根川といわれるようになったそうです。

奈土地区の盆綱

8月13日、大栄町奈土地区の昌福寺境内で子どもたちが地区内の家々から持ち寄った藁を束ねて、盆綱を作ります。

夕暮れから始まるこの伝統行事は、地区の子どもたちが大きな掛け声を掛けながら保存会の会員が中心となって、約2時間かけて2本の長い太綱を編みます。

8月14日・15日には、子どもたちができあがった盆綱を持って「ワッショイボン ワッショイボン」と元気の掛け声を響かせながら村中の家々を回ります。



龍正院

坂東三十三所観音霊場第28番札所で、滑河観音の名で親しまれている下総町の龍正院。春秋の礼拝シーズンともなれば観光バスが連なりま

す。平安時代初期の承和五年(838)創建と伝えられ、国の重要文化財に指定されている仁王門、天井の天女の絵や多様な欄間の透かし彫りがある本堂、宝篋印塔など重要な文化財が多く残されています。また、「しもふさ七福神」の毘沙門天やボケを封じる道祖神などの新しい石仏も好評でお参りする人が絶えません。



よく見ると16角柱の柱が珍しい龍正院仁王門

龍正院のほおすき市



四万八千日

毎年8月9日の夜から10日にかけて龍正院で行われる夜祭り。この二日間を四万八千日と呼びます。この日にお参りすると4万8千回お参りしたと同じ利益があるといわれています。また、この日を別名「ほおすき市」ともい、境内は近郷近在からの参拝者であふれます。



おいしそうな
おにいに...



祭を盛り上げるお囃子



ふるさと大栄夏まつり

大栄町で開催される夏の一大イベントです。こじは8月6日(土)に行われます。会場中央ではお囃子や音楽に合わせて盆踊り、芸座踊り、ロックソーランが披露され、毎年飛び入り参加者が出るほど盛り上がりがあります。また、子どもビンゴゲームなどの子ども向けのイベントも豊富です。そして、祭りのクライマックスに打ち上げられる、005発の夢花火が大栄町の夜空を彩ります。

ニホン・オートモービル・カレッジ

成田 桜田小学校 佐原

JAかとり 大栄支店

東関東自動車道 大栄IC

日時 8月6日(土)午後4時~8時30分。(雨天の場合は8月7日(日)に延期)

会場 ニホン・オートモービル・カレッジ(日栄学園)

問い合わせ先 ふるさと大栄夏まつり実行委員会事務局 (☎0478-73-8070)